

Letter from Fiji

2023 年度 3 次隊／中谷剛 （配属先）フィジー農業水路省 水路部門

2024 年 2 月にフィジーに着任致しました中谷剛（なかたにつよし）です。現在、農業水路省の水路部局で、政府のエンジニアの方々に、主に洪水対策に必要な技術支援を行っています。



フィジーには、ビレッジ（村）という生活共同体があります。村全体が大家族のような関係で暮らしています。今回、その村で「防災」に関する講演をする機会を頂きました。そこで講演の冒頭、「鵜飼」の紹介を致しました。その時の様子をお伝えします。

私の着ているブラシャツとスルは、フィジーの正装です。ブラシャツのブラ(bula)はフィジー語で“こんにちは”と似た意味です。日常的には化繊のカラフルなシャツが多いのですが、この時は綿素材に伝統的な柄のシャツを着ました。スルは腰に巻いて身に着けます。丈のサイズはなく、腰回りのサイズだけです。履物はサンダルです。ビーチサンダルとは違い、足指が隠れて踵のあるサンダルなら OK です。



鵜飼の紹介には、毎年、鵜飼船を一艘貸切って行っている高校の同窓会（長良高校の 25 期です）で撮影した写真と動画を利用しました。フィジーの食事は、一皿に食材を盛り付けます。きれいに分けられたお弁当スタイルも珍しかったようです。

フィジーにも川魚を食する文化があります。ほとんど投網を利用しているようです。川鵜が海鵜の区別はできませんが、海岸や河口付近で鵜を見つけることができます。その鵜をトレーニングして魚をするという漁法について、子供達には面白く映ったようで、鵜飼のビデオ紹介を興味深かそうに観ておりました。

